

在学留学報告書 (1年留学)

留学の前半終了時：シート番号1, 2, 4, 7のみ記入して提出してください。

留学の後半終了時：シート番号0, 3, 5, 6, 8を記入して提出してください。

●基本情報

留学開始年度	2023	留学種別	交換
留学先国	韓国	留学先大学名	檀国大学校
本学での所属学部(研究科)・学科・専攻			
国際関係学部	国際関係学科		
出発時の年次	学部3年次		
留学期間(実際の渡航期間)	2023	年	2月～2024年1月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
朝鮮半島及び東北アジアにおける国際政治を専門的に学べられる大学を選びました。また、現地学生との交流があるパディ制度の有無も重視しました。
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名： 仲介手数料 円)
<input checked="" type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった(以下の質問には回答不要)
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)	
授業料総額：	円
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計：	円
支払い方法：	

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他 ()	
<input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請(申請の場所：)	
必要書類	
査証発給申請書、身分証(住民票、免許証、マイナンバーカードなど)の原本・両面のコピー	
取得にかかった期間(申請してから要した期間)	取得費用
2週間ほど	無料
具体的な申し込み手順(例：必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。)	
必要書類の準備→オンラインで訪問日を選択し予約→駐日韓国大使館へ申請→ビザ発給後受け取りに行く	
ビザ申請の際の面接	
<input type="checkbox"/> 面接有(質問の内容 / 言語等：)	
<input checked="" type="checkbox"/> 面接無	
ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
記入漏れがあったため再度作成と別日に訪問するように言われたので、査証発給申請書の記入と身分証は何度も確認してから申請に行ってください。	

現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	
3. 住居の確保	
どのように住居を見つけましたか？	
大学指定の寮に入居	
住居の申し込み手順	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用： 円	内訳：
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
部屋…学習机、椅子、クローゼット、シングルベッド、シャワールーム、トイレ、洗面台、Wi-Fi、エアコン、冷蔵庫、シューズロッカー 共有スペース…電子レンジ、ウォーターサーバー(温/冷)、洗濯機・乾燥機、ジム、別館にキッチン	
食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input checked="" type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 () 通学時間合計： 15 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3. 費用の合計とその内訳	
費用： 円	内訳：
4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()

●現地到着後の手続き

1. 滞在許可書等の申請

現地で滞在許可書や住民登録等の申請は必要ありますか？	
<input type="checkbox"/> 滞在許可書の申請が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 住民登録の申請が必要 <input type="checkbox"/> 特に必要な手続きは無い (以下の項目には回答不要) <input type="checkbox"/> その他 ()	
必要書類：	パスポート、学生証
申請時期：	3月16日
申請方法：	大学の留学生サポーターの引率のもと、水原出入国・外国人庁で申請手続き
費用：	無料
取得に要した日数：	23日
注意点等：	
銀行口座の開設	
<input checked="" type="checkbox"/> 現地で銀行口座を開設した <input type="checkbox"/> 銀行口座は開設していない (以下の項目には回答不要)	
銀行名：	ウリ銀行
必要書類：	学生証、外国人登録証、在学証明書、開設手数料(20,000ウォン)
開設時期：	4月11日
開設方法：	大学キャンパス内にある支店で手続き
費用：	20,000ウォン
開設に要した日数：	当日開設
注意点等：	在学証明書は事前にキャンパス内のCSセンターで発行してもらう必要があります。窓口の受付時間が限られているため午前中に行くのがおすすめです。
携帯電話の購入	
<input type="checkbox"/> 現地で携帯電話を購入 <input checked="" type="checkbox"/> 現地でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 日本でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 特に何も購入していない (以下の項目には回答不要)	
必要書類：	パスポート、学生証
購入時期：	2月25日
購入方法：	jbモバイルという日本人スタッフ勤務の携帯会社でsimカード購入
費用：	月29,700ウォン
注意点等：	外国人登録証が発行されるまでは先払いなので、2~3か月分の現金を持参してください。
その他、現地で行った手続きがあれば記載してください。	

●留学先での履修科目について ※全留学期間分を記入してください。

留学先で取得した単位数合計		credit
		ECTS
本学で認定された単位数合計		単位

●履修登録の方法 (留学前半分)

履修登録の時期
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 到着後 <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 <input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 変更できた <input checked="" type="checkbox"/> 追加できた <input checked="" type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 変更できない
履修登録の際の注意点等があればお書きください。
留學生のために開講された韓国語技能の講義(リスニングやスピーキング、ライティングなど)を履修する際、履修登録のリストとは別に大学側からexcelのファイルが添付されてメールが送られてくるので、注意しなければなりません。

※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	韓国の外交と戦争史
	開講学部	教養教育大学(教養科目)
	担当教員名	キム・チョルン
	時間数 (1週間あたり)	3時間
	授業内容	世界史の観点から韓国の歴史と漢民族の発展を理解し、統一韓国の未来を見る。 朝鮮半島の古代史から現代史まで、戦争に焦点を当てその背景にある外交関係を総括的に学ぶ。
	試験・課題等	課題…授業後に穴埋め問題(6~7問) 中間試験…なし 期末試験…穴埋め問題と論述問題
	感想・自己評価等	オンデマンド授業であったため、好きな時間に受けて何度も見返すことができたのが良かった。他の講義の試験やレポートでは韓国語を調べることができたが、この講義ではペーパーテストだったので韓国語の筆記の実力向上にも役立った。特に韓国から見る文禄の役や独立運動に関しては、日本の教育以上に熱量が加えられている印象を受けた。これは大学の講義であるため専門的ではあるものの、日本の史実中心の表面的な歴史教育よりも自国のプライドや愛国心の強さを感じ、日本ももう少しアイデンティティに触れるような教育方針を取り入れるべきではないかと思った。

2	コース名/科目名	比較政治論
	開講学部	社会科学大学 政治外交学科
	担当教員名	イ・ドンミン
	時間数 (1週間あたり)	3時間
	授業内容	政治状況と関係を分析するための方法と理論的アプローチの修得。 冷戦体制や米中対立などを例に、国際政治の発展過程や政治システムについて客観的に見つけ議論をしながら理解を深める。 授業資料は英語で、国際関係に関する英語の専門用語を学び語学力向上を図る。
	試験・課題等	課題…授業で学んだ題材から自由に議題を取り上げ、レポート作成(2回) 中間・期末試験…ともに提示された議題1つに対する解説と自身の考えに関する論述
	感想・自己評価等	授業内容も難しく韓国語での解説を聞き取るのにも必死で、討論や学生の質問もレベルが高くて圧倒された。政治発展や制度、権力など国家を主体とした議題を通じて今後の国際政治のあり方を学んだが、1・2年次の基礎演習と発展演習が活かされてより理解が深まった。国際関係を学ぶ上で重要な論理的思考や判断力がさらに身についたほか、韓国語でのレポート課題や討論を通じてアウトプットの練習になり、効率的な韓国語学習にもつながった。

コース名/科目名	北朝鮮学の理解
開講学部	自由教養学部
担当教員名	ソ・ヨンソク
時間数 (1週間あたり)	3時間
授業内容	北朝鮮の統治システム、外交関係、軍事戦略と脅威、経済システム、社会システム、教育と文化、人権問題を理解し、望ましい北朝鮮関係と統一問題について客観的な視点から学ぶ。
3	<p>試験・課題等</p> <p>課題…授業後に論述形式の課題(3~4問)</p> <p>中間試験…試験の代わりに戦争記念館訪問に関する感想文(word 4ページ)</p> <p>期末試験…提示された議題に関する論述(word 4ページ)</p> <p>感想・自己評価等</p> <p>日本では知る機会の少ない北朝鮮社会や朝鮮半島統一に関する問題を韓国の視点から学ぶことができ、新鮮で学びの多い講義だった。また、戦争記念館に訪問し朝鮮戦争に関しても深く学ぶことができたほか、日本にまつわるエピソードもいくつかあり衝撃的だった。同じ民族で政治体制の異なる朝鮮半島の葛藤は想像以上に複雑であり、統一問題など解決策の模索に挫折しそうになったが、改めて外交交渉や日米韓3ヶ国の連携などの重要性に気付かされた。</p>

コース名/科目名	外交政策論
開講学部	社会科学大学 政治外交学科
担当教員名	イ・ドンミン
時間数 (1週間あたり)	3時間
授業内容	韓国における外交政策分析を通じて革新的な思考を養う。 韓国と各国の外交政策について国家安全保障やメディアなどのテーマから分析する。また、各議題をリアリズム・リベラリズム・コンストラクティビズムの観点から学び、討論を通じて理解を深める。
4	<p>試験・課題等</p> <p>課題…授業で学んだ題材から自由に議題を取り上げ、レポート作成(2回)</p> <p>中間・期末試験…ともに提示された議題1つに対する解説と自身の考えに関する論述</p> <p>感想・自己評価等</p> <p>授業では中国と日本に挟まれる韓国が、大国の外交戦略にどう対応していくべきかを中心に今後の展望についても学んだ。また、同時に経済情勢にも注目し、政治発展と経済発展の相互作用の重要性にも気づいた。その他、韓国としての国家戦略を学びつつ、日本に求められていることは何かを第三者的視点で考えるきっかけにもなった。討論では学生が積極的に議論を交わしていたのに対し、私は意見を聞くのに徹していたことが多かった。自身の考えを素早く簡潔にまとめ、分かりやすく伝える力をつけなければならないと感じ</p>

5	コース名/科目名	外国人のための韓国語スピーキング/リスニング
	開講学部	自由教養学部(自由教科)
	担当教員名	キム・テソク
	時間数 (1週間あたり)	3時間
	授業内容	韓国の大学の講義に関連するテキストと学生間の会話を通じて韓国語のスピーキングとリスニング能力を高める。留学生が韓国語で流暢に考え、話すことができるだけでなく、包括的なコミュニケーション能力も高める。
	試験・課題等	
	課題…プレゼンテーション(1人で、10分程度)	
	中間試験…教授と1:1でスピーキングテスト	
	期末試験…学生同士の討論	
	感想・自己評価等	韓国語のことわざや熟語などを学び語彙力が向上しただけでなく、同時に韓国社会や伝統文化も学び韓国での生活に役立った。教授から時々日韓の時事問題などに関して「日本の考え」を問われたこともあり、韓国語で答える以前に日本についてよく知らないということに痛感した。また、他の国からの留学生と韓国語を学ぶにあたり学生同士の交流も深まり、積極性と言語習得の重要性を再認識した。

6	コース名/科目名	Northeast Asia and World Politics
	開講学部	自由教養学部
	担当教員名	キム・ジノ
	時間数 (1週間あたり)	3時間
	授業内容	北東アジアの国際関係に関連して、世界の大国の問題を研究する。特に北東アジアの国際政治におけるアメリカと中国の関係を分析し、またこの点に関してアメリカ、中国、ロシア、日本の間での覇権争いに注目する。講義は英語で行われ、プレゼンテーションと議論の能力を伸ばす。
	試験・課題等	
	課題…なし	
	中間試験…韓国と国際関係に関する議題を自由に設け、レポート作成(word 10ページ以上)	
	期末試験…中間試験のレポートをもとにプレゼンテーション(1人で、10分程度)	
	感想・自己評価等	北東アジア中心の国際関係に関する留学生向けの授業だったが、欧米圏からの学生も多く受講していて彼らの視点から東北アジアや米中対立がどう映るのかも知ることができ、興味深く有意義な授業だった。日本人学生は私だけだったので多少不安もあり、英語でのレポートもプレゼンテーションもかなりハードだったが、学生たちがとても良かったと声をかけてくれたおかげで達成感も大きく成長を感じた。

● 1週間のスケジュール (授業・課外活動・勉強・プライベート等 毎日の生活について記入してください。)

	(例)	月	火	水	木	金	土	日
6:00								
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床		
8:00							起床	起床
9:00	授業			授業	授業			
10:00	授業			授業	授業	授業		
11:00	授業			授業	授業	授業		
12:00			授業	授業		授業		
13:00	授業		授業	授業				
14:00	授業		授業	授業				
15:00	授業		勉強		授業			
16:00	買い物		勉強		授業			
17:00					授業			
18:00	友人と過ごす							
19:00								
20:00	勉強				勉強			
21:00	勉強			勉強	勉強			
22:00				勉強				
23:00	就寝							
0:00								
1:00		就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

留学先国の特徴や雰囲気等
<p>思ったより日本に関心を持っている人や日本を好きだと言ってくれる人が多く、親切にしてくれる印象が強いです。一方で自己主張が強い文化なので、自分の意見をはっきり言う方がむしろ好印象です。また、交通面ではバス・車優先なので歩くときは注意が必要です。最近ソウル周辺地域で刃傷沙汰を起こすというネット書き込みが相次ぎ、物騒な印象を受けますが警察の取り締まり強化等比較的治安は良いと感じます。街では政治関連の横断幕が多く、現在は原発処理水放出反対といった日本を批判する内容もよく見かけます。こういった宣伝活動でも主張の強さが感じられます。</p>
留学先大学の特徴や雰囲気等
<p>竹田キャンパスは敷地面積が広いだけでなく坂も多いため、各棟に移動するのが少し大変です。シャトルバスも通っているため便利ではあるものの、最寄りの停留所から寮まで徒歩10分ほどかかります。大学には学生以外に散歩に来る一般の人々も時々見かけます。カフェやコンビニ、書店、郵便局、銀行まで揃っており充実しています。食堂は昼食約5~600円ほどで量も多く満足です。大学全体は落ち着いた雰囲気ですが、友人らと授業後にご飯を食べに行く人も多くにぎやかです。</p>
授業について
<p>専攻の授業をメインに履修したため現地学生がほとんどで韓国語で進行する講義についていけるか不安が大きかったですが、討論やグループワークもあり学生と仲良くなるきっかけにもなりました。講義内容は難しくても教授が学生に考えさせる時間を設けてくださったり、学生も積極的に質問したりしていて密度の濃い授業でした。1コマ3時間が基本ですが、途中で10分休憩を挟んで再開するケースが多かったです。</p>
課外活動（ボランティア、サークル等）について
<p>現地学生とのパディ制度に申し込んで一緒にご飯を食べに行ったりしました。ランダムで組まれるので私は男子学生とペアになりましたが、日本語が上手でレポート課題の添削など学校生活で困ったことがあったときに手伝ってもらい心強かったです。また、夏休み期間に現地学生に日本語を教える Japanese Village というプログラムに参加し、基礎と初級クラスを担当しました。5人クラスでアットホームな雰囲気でしたが、日本語がほとんど分からない学生が多く一から教えるのに苦労しました。しかしその分韓国語能力やプレゼンスキルの向上につながったと実感し、終了時には達成感も大きかったです。</p>
滞在先（寮や一人暮らし等）の環境について
<p>寮のクローゼットが小さくないのとトイレもつまりやすいので少し不便です。洗濯機がQRコード決済のみ対応で留学生は外国人登録証がないとアプリの登録もできません。そのため寮の洗濯機を使える友人を見つけられない限りしばらくは手洗いか寮から徒歩25分ほどの距離にあるコインランドリーまで行くことになります。空調は温度調節が不可ですが、除湿や送風に切り替えることは可能です。床暖房もあるので冬も室内ではそれほど寒くはありません。</p>
現地での生活
<p>食べ物は基本的に結構辛いものが多いですが、日本食のお店も多いです。また、韓国ではみんなで食事する文化があるので1人前のメニューは少ないです。交通費は地下鉄1回利用で約130円~300円ぐらいなので安いですが、物価が高く外食すると1人当たり1,500円ほどすることがほとんどです。節約のためにパックご飯やシリアルなどをまとめ買いして食べたり、時々寮のキッチンで料理をしたりしています。</p>

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス

檀国大学校はヨーロッパや南米など世界各地から外国人留学生を多く受け入れており、国際性豊かな大学です。授業数も細かく分類されており興味深い授業がたくさんありますが、1つは体育など教養科目を履修し他学部生との交流の機会を得ることをお勧めします。困ったときは国際チームの学生に相談すればすぐに助けてくれるのでとても心強いです。寮のルームメイトは日本人を希望した方がいいと思います。言語や生活環境の面でストレスを感じる事が少なく、安心感も大きいため快適な留学生活を送れます。檀国大学校に限らずですが、外国での生活なので精神的につらいと感じることもあります。留学の目的や意志を明確にし、最後まで諦めないという強い志のある方はぜひ挑戦してみてください。

留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標

日本とは授業形態や環境が違う部分が大きかったため、体調を崩すこともよくありました。なので後半は体調管理やスケジュール管理を徹底しより充実した留学生活を送れるようにしたいです。また、大統領官邸や非武装地帯など社会見学にもたくさん行って、韓国社会・国際関係に関する研究材料の一つにしたいです。